

令和6年12月24日（火）

第12回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和6年12月24日（火）午後2時00分
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委 員 蒲田 知子
委 員 村松 弘康 委 員 新山 訓代
委 員 中村 通宏
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 山 田 和 夫 生涯学習部長 菊 地 統
生涯学習部次長兼文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史 郎
生涯学習部参事兼鳥の博物館長 森 田 康 宏
総務課長 高 橋 純
教育相談センター所長 遠 藤 美 香
指導課長兼小中一貫推進室長 森 谷 朋 子
少年センター長 川 本 将 多 生涯学習課長 斉 藤 幸 弘
図書館長 中 山 千 草 学校教育課主幹 齊 藤 優
6. 欠席事務局職員
学校教育課長 中 野 直 美

午後 2 時 0 0 分開会

○丸教育長 ただいまから令和 6 年第 1 2 回定例教育委員会を開会します。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、
会議録署名委員を指名します。村松委員にお願いします。

諸 報 告

○丸教育長 日程第 2、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する
事項が 5 点ございますので、その説明から始めます。

1 点目、春季企画展「楚人冠とアート 芸術家たちとの交流」について、辻
文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 「楚人冠とアート 芸術家たちとの交流」は、杉村
楚人冠記念館の春季企画展になります。この展示会は 1 月 7 日から 6 月 2 9 日
までを開催期間としています。今回は、杉村楚人冠と芸術家たち 5 人との交流
を中心に展示を行います。主な登場人物ですが、伊東忠太という建築史家がい
ます。この方は法隆寺とギリシャ建築との繋がりを主張して、その実証のため
に自らシルクロードを踏破し、現地の建築の特徴を取り込んで、築地本願寺を
設計した方として知られています。建築という言葉を生んだのもこの伊東忠太
だと言われています。もう 1 人、和田栄作についてです。この方は明治学院で
早くから西洋画を学びました。そして、日本画の大家と言われている黒田清輝
たちと白馬会というコミュニティを作り、東京美術学校校長、現在の東京芸術
大学学長を務めた人物です。和田栄作は、夏目漱石の小説などにも現れる作品
を書いている方で、ある意味、明治という時代を象徴する画家と言えます。杉

村楚人冠がこういった方々と幅広い交流を我孫子で結んでいたということを歴史的な杉村楚人冠記念館で感じていただけると幸いです。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等あればお願いします。——よろしいですか。

続きまして２点目、文化財防火デー防災訓練及び旧井上家住宅企画展「我孫子の消防むかしといま」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 まず、文化財防火デー防災訓練についてです。１月２６日の「文化財防火デー」前後に市内の文化財建造物で、毎年、防災訓練を実施しています。今年は１月２５日、１０時から１２時まで、旧井上家住宅で実施します。模擬消火器や旧井上家住宅母屋への放水訓練と併せて、防火服の試着や子ども向けの消防車両の展示、非常食の配布など消防本部の協力を得て実施します。誰でも参加でき、体験でき、楽しめる防災訓練とする予定です。

また、１月１１日から３月２７日まで、旧井上家住宅新土蔵で企画展「我孫子の消防むかしといま」を実施します。民具資料や消防署で保管している歴史的な消防用具から現在使用しているものまでを展示し、消防が人々の暮らしを守ってきたことを知ることができる展示となっています。ぜひご覧いただければと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。

ご質問等あればお願いします。——よろしいですか。

続きまして３点目、船橋市飛ノ台史跡公園博物館事業「考古学講座」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 ２月２日まで、船橋市飛ノ台史跡公園博物館において企画展「縄文と弥生」が開催されています。同館は史跡、飛ノ台貝塚に隣接する縄文時代の貝塚専門の博物館であり、企画展に市内の下ヶ戸貝塚出土の縄文土器を出展しています。今回は縄文から弥生時代の変遷を追う展示で、下ヶ

戸貝塚の土器は、縄文時代の最も終わりの晩期と言われている時期のものであることから選ばれたようです。この企画展に併せて、1月11日に行われる船橋市飛ノ台史跡公園博物館事業「考古学講座」の中で、当市の文化財主事が下ヶ戸貝塚についての発表を行いますので、お時間ありましたらぜひご覧いただければと思います。

○丸教育長 ありがとうございました。

ご質問等あればお願いします。——よろしいですか。

続きまして4点目、「我孫子通信 文人の郷だより」17号の発行について、辻文化・スポーツ課長、お願いいたします。

○辻文化・スポーツ課長 白樺文学館、杉村楚人冠記念館では、2館共通の年間パスポートを発行していますが、パスポート購入者へのノベルティとして館長及び学芸員が執筆したコラム集「我孫子通信 文人の里だより」を年間4回、不定期なのですが、刊行しています。この通信の目的としては、年間パスポート購入者へのノベルティなのですが、それ以上に、お題を学芸員に与えることによって、学芸員の知識の引き出しや表現力を増やすことを目的としています。学芸員は論文の執筆等を通じて「難しいことを難しく」書くことには非常に慣れています、「難しいことをわかりやすく」市民に伝えることが非常に大事だと考えています。そのためには、経験とスキルを身につける必要があります。この通信を刊行することで、市民の皆様により身近に白樺文学館、杉村楚人冠記念館を知っていただき、来館していただきたいと考えています。

今まで教育委員の皆様には、この通信をご紹介してきませんでしたが、今後は学芸員の活動を知っていただくために、定期的にご報告させていただこうと思います。よろしくご一読ください。

○丸教育長 ありがとうございました。

ご質問等あればお願いします。——よろしいですか。

最後５点目、千葉県中学校駅伝大会、関東中学校駅伝競走大会、全国中学校駅伝大会の結果について、森谷指導課長、お願いします。

○森谷指導課長　１０月の定例教育委員会にて、葛南地区中学校駅伝大会、東葛飾地方中学校駅伝競走大会についてご報告しましたが、その後行われた千葉県中学校駅伝大会、関東中学校駅伝競走大会、全国中学校駅伝大会についてご報告します。

１１月２日に柏の葉公園総合競技場で行われた千葉県中学校駅伝大会には葛南地区中学校駅伝大会で５位までに入賞したチームが出場しました。男子の部では１位我孫子中学校、２位久寺家中学校、２１位白山中学校でした。女子の部では４位久寺家中学校、６位湖北台中学校、２２位白山中学校でした。我孫子市からたくさんのチームが出場でき、嬉しく思いました。この大会で１位となった我孫子中学校は全国中学校駅伝大会への切符を手にすることができました。

１２月２日には、山梨県櫛形総合公園特設周回コースで関東中学校駅伝競走大会が行われました。千葉県中学校駅伝大会で５位までに入賞したチームが出場し、男子の部では、２位久寺家中学校、３位我孫子中学校。女子の部では、２４位久寺家中学校という結果でした。千葉県の代表としてどのチームも力強く走り切り、大変立派でした。

最後に、１２月１５日に滋賀県希望が丘文化公園にて全国中学校駅伝大会が行われました。千葉県中学校駅伝大会、男子の部で１位だった我孫子中学校が千葉県代表として出場しました。当日は選手の交代もありましたが、チーム一丸となり、全員が諦めない素晴らしい戦いで、見事２位という快挙を達成しました。なお、我孫子中学校男子駅伝部は本日午前中、教育委員会大会議室において市長、副市長、教育長への表敬訪問を終えたところです。大変立派な表敬訪問だったと思います。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。

表敬訪問では、顧問の樋口先生からのお話や選手1人ずつ報告をしてくれました。話を聞いている中で、このチームで走れて良かった、自分は参加できなかったがチームの絆を感じたなど、諦めない気持ちや団結力を持っているという子どもたちの生の声が聞けてとても嬉しかったです。

ご質問等あればお願いいたします。——よろしいですか。

それでは、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手お願いします。

○蒲田委員 アビコ・ユナイテッドで活動している方から聞いたお話なのですが、布佐の子どもたちが参加するようになってきて、その中には、支援級に入っているお子さんもいるようで、一緒に楽しく体を動かしているとのことでした。いろんな子どもたちが体を動かす機会をみんなで作っていくということを実践できていることを実感しました。ありがとうございます。

○丸教育長 ありがとうございました。

ほかにございますか。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。

以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

それではここで、蒲田委員につきましては、本日が任期中最後の会議となり

ますので、ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○蒲田委員 教育委員としては8年ではありましたが、この教育委員会大会議室に初めて来たのはいつだったかなと思い返すと、30年以上前に、今はほとんど使われていない「16ミリ写映機操作の講習会」でした。どうして講習に参加したかという、あの頃まだビデオがあまり普及していなかったのも、幼稚園のお友達と一緒に家の壁に16ミリを映して、アニメを見るようなことが流行っていました。そのため、夏季休業の時間を使って講習会を受けて、終了証を発行していただきました。そのときの職員の方のこともよく覚えています。

その後、私は子どもたちのために頑張ろうという意欲が常にあり、PTAの地区委員をしたり、少年指導員をしたり、様々な経験をしました。少年指導員のときは、少年センター長が中心となって、今の子どもたちに何を伝えるべきなのかを先生方と一生懸命考えて活動していました。その経験の中で、私は当時の少年センター長に公民館運営審議会委員を勧められ、委員を務めました。ちょうどアビスタができる頃、中央公民館からアビスタに変わるときでした。そこで、アビスタを作るに当たり、駐車場の有料化や、自分たちの事務スペースを減らしても、市民の方々に活用していく場所を増やしたいという職員の方々の思い、限られたスペースの中で本をできるだけ収めようという努力、それから、障害のある方たちと一緒に働く場を作ることなど、公民館運営審議会委員として、自分たちも楽しみながら作っていくところで、少しでも力になったことが貴重な経験だったと思います。そこで福祉の方とも関わっていくことがありました。本当に、市民と共に作っていくことが我孫子市はできていると実感しながら活動しています。

また、鳥の博物館の市民スタッフとしても活動させていただきました。その中で、フクロウとミミズクの違いについての話があるのですが、それには正しい答えがあり、鳥の博物館学芸員から指導を受けました。私は、社会教育に

も携わっていたため、地方に行ったときには、博物館や図書館に行くようにしているのですが、そこでは違った説明をされていて、正しい知識、妥当な知識をきちんと指導を受けた上で説明しなければいけないなと思いました。地方には立派な施設がありますが、どこも予算的に厳しかったりしますが、そんな中でどう工夫しているのかという視点でみたり、我孫子市と比較したりしています。また、地方に住んでいる方から、なぜ博物館に行くのか聞かれることがあります。そこで、私はこういう面白いものがありますよとお話しますが、正直お話するだけでなく、実際にその場に行かないとその面白さには気付かないと思っています。我孫子市は、鳥の博物館のほかにも白樺文学館や杉村楚人冠記念館などもそうですが、行けば楽しいものがあるよと言えるものを作っていることは、本当に努力の賜物と思って見させていただいています。

少年指導員のときもそうでしたが、教育委員になってからも、実際に現場に行き、そこでどういう活動をしているのかを見させていただきました。誘拐防止教室では、子どもたちにどう少年指導員が説明して、先生方がどう受け止めて、役に立っているのかを立場が違う中で見させていただきました。そこで、今の子どもたちに適した形をそれぞれが考えて行動していることが実感できました。

小中学校の卒業式も参列させていただきました。特に今年は、コロナウイルスが落ち着いてきたとはいえ、まだ不安があるような保護者の方もいるような状況でしたが、子どもたちや保護者の方、先生方、全員が頑張ってきたことを認め合うような雰囲気を感じることができる卒業式でした。その場に参列することができた私は幸せだったなと改めて思いました。今年是我孫子第四小学校の卒業式に参列しましたが、校長先生の式辞では、子どもたちの文集から言葉を紡いで、自分のお気持ちを乗せてお話をされていました。本当に子どもたちのことを思いながら上手に自分の気持ちを伝えていて、子どもたちもその思

いが伝わっているだろうなと感じました。私が布佐中学校で学んできた中で、恩師から「考えるだけでは駄目、実践することが大事だ」と教えていただきました。今までずっとその言葉を意識しながら行動し続けてきて、今の私に繋がってきたと思っています。

最後に、私は布佐小学校、布佐中学校の教育を受けて、今も我孫子の教育をさせていただき、とても勉強になっただけではなく、少しでもお役に立てたらよかったなと思います。また、これからも何かの形でお役に立てるように努めていきたいと思っています。本当に皆さんのおかげで長い間続けることができました。ありがとうございました。

○丸教育長 本当にお疲れ様でした。蒲田委員には、今後ともいろいろな面でご支援、ご協力いただけると嬉しいなと思います。

また教育委員会としましても、子どもたち、そして市民のためにという思い、いろいろな案を考えながら前に進めていきたいと思っています。

どうぞまたよろしくお願いします。

○丸教育長 以上で令和6年第12回定例教育委員会を終了します。お疲れさまでした。

午後2時26分閉会